

### 「関大北陽ファミリーの集いに参加して」 生徒指導部・特別活動 主任 百済 清貴

この度、同窓会とPTAの協力のもと開催されました「関大北陽ファミリーの集い」に司会者として参加させて頂きました。本校の卒業生でもない私が司会の様な大役を担うのは大変ためられました。しかし、この集いをなんとか成功させようと、懸命に準備されている同窓会の役員の方々のお姿からなんとか北陽高校を盛り上げようという熱意がひしひしと伝わり、微力ながらご協力させて頂くことにしました。

私は普段、学校行事の運営を担当しております。それぞれの行事がスムーズに運び、無事終わらせるためには、表には見えない準備と苦勞があります。今回の「関大北陽ファミリーの集い」も同じく、同窓会の方々やPTAの役員の方々のご苦勞は大変なものでした。しかし、アイデアを出し合い議論を重ねながら準備に当たられているお姿にはまさしく「北陽」への愛が溢れていました。

学校の主役は生徒たちです。生徒たちが輝くためには教師と



保護者がしっかりと協力することが大切です。本校はそれだけではなく、同窓会という温かい存在があります。これを機に、保護者、同窓会、教員の三者が、生徒を中心に強い協力関係をつづけていけるのではないだろうかと感じました。今回このような機会をいただきましたことに感謝申し上げます。今後も北陽高校同窓会が益々発展されることをお祈りいたします。



#### 編集後記

11月9日(土)第6回ホームcomingデーが開催されましたが、今回は建替えられた新体育館の落成記念として、初めての試みである「関大北陽ファミリーの集い」を本校・PTA・同窓会の協力行事として実施されました。当日は総勢400名を超える参加者と先生方の司会進行により、在校生・岡田会長のほか卒業生による講演、そして本校・PTA・同窓会の三位一体による抽選会も盛況のうちに終了しました。100名を超える同窓と恩師による懇親会では、近年にない盛り上がりを見せました。また、総務・組織事業・広報の委員会委員の連携プレーによる初めての試みであったと思います。

本年も沢山の原稿を寄稿して頂き有難うございました。委員一同心より感謝しております。

広報委員会

関西大学北陽高校同窓会ホームページ <http://www.hokuyo-ob.jp/>

# 北陽同窓

**会報 第36号**

2014年2月22日

発行 関大北陽高校同窓会  
編集 同窓会広報委員会  
題字 関東支部 内海 昭

## 関西大学北陽高等学校、新たな歴史への一步

関西大学北陽高等学校 同窓会会長 岡田 彰布 (昭和51年卒業)

同窓会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。昨年5月に我が母校の同窓会会長という大役を仰せつかりました岡田彰布です。

この度、改めて母校の沿革を勉強させて頂きました。ご存じのことと思いますが、創立は大正4年(1925年)で甲種北陽商業学校として誕生しました。以来戦争を挟み校名の変遷もあったと聞いております。

そして6年前の平成20年(2008年)学校法人が変わり、校名が関西大学北陽高等学校となり、同時に男子校から男女共学になりました。

私個人として率直に申し上げますと、最初は相当な違和感がありました。硬式野球部OBという意識が強いためそう感じたかもしれませんが、幸い昭和48年(1973年)に甲子園に出場出来ましたが、その思い出の中に輝いている「北陽」という校名に今でも心が熱くなる程の愛着があるからでしょうか。

昨年9月には皆様のご協力のお陰をもちまして、体育館の建替えが終了しました。私も何年振りかで母校を数回訪れました。記憶に残る北陽高校から徐々に姿を変えています。

しかし時代と共に進化を続ける新しくたくましい母校に頼もしさと力強さを感じております。この素晴らしく恵まれた環境の中、後輩達には充実した中学・高校生活を送って頂きたいと願っております。

これから、関西大学北陽高等学校として新しい歴史と伝統を築きあげるようになります。今も昔も漢字一文字で言うと、文字通り北陽の「陽」で表せる存在であってほしいと思っております。

最後になりましたが、皆様には今後ともご支援・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



### 岡田彰布会長に引継終えて

関西大学北陽高等学校同窓会 会長代行 足立 宗央 (昭和42年卒業)

今回、岡田彰布会長へのバトンタッチの想いを書かせて頂きました。私が会長を引継ぐにあたり、神山顧問から「岡田彰布さんを将来必ず会長にしてほしい」と要望がありました。神山会長時代には多忙を承知のうえで、副会長を引き受けて頂いた経緯があったからです。

同窓の方々には岡田彰布さんの「母校愛の熱い人物」であることをご存じの方も少なくないと思います。私もその一人で、阪神タイガース監督時、多忙にもかかわらず遠征先のホテルから「北陽同窓」に寄稿してもらった時には本当に感激しました。

就任要請のチャンスを伺っていた時、昨年4月開催の代議員会に出席の返事があり、この機会と思ひ要請し、引き受けて頂きました。

しかし実際はスムーズ就任が進んだ訳でなく当然固辞されました。周りからは岡田さんに負担をかけるべきでない声も少なく正直悩みました。

プロ野球の世界で活躍され人気球団の監督を務められた

方だから会長就任を要請したのではなく、早稲田大学時代から帰阪時は後輩たちに指導をしたり、サッカー部が全国大会に出場した際には応援にも駆けつけたと聞いています。球界に入ってから、多忙にもかかわらず母校の応援に行かれている事はご存じの方が多いと思います。

同窓会長は名誉職でも広告塔でもありません。本当に母校を愛し、母校との出会いを大事にする方の職として歴代引継がれていると確信しております。

福武学園北陽高校から関西大学北陽高校に代わって6年目、今回、岡田会長に引き受けて頂いたことは、これからの「北陽魂」を引継ぐ最初の人物にふさわしい方と思うのは私だけでしょうか。

今後は、岡田会長のもと微力ではありますが、母校を愛する一員として活動してまいりますので、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。



### 新総合体育館とともに刻む新しい歴史への歩み

関西大学北陽高等学校・中学校 学校長 鈴木 清士

2013年4月に北陽中学校一期生であった生徒が北陽高校に入学してまいりました。関大北陽としての「中高一貫教育」の幕開けであります。これを機に、それまでの「I類、II類」というコースを「特進、文理」というコースに改編し、一定の成績基準を満たせばほとんどの生徒が関西大学に内部進学できるシステムにしました。そして、北陽の伝統を支えてきたスポーツのさらなる飛躍を期して、それまで学年1クラスであったスポーツコースを2クラスに増設。いよいよ、「北陽の逆襲」が到来する予感が……。

さて、新体育館の竣工を祝い、『関大北陽ファミリーの集い』が11月9日に開催されました。長い歴史の中でおそらく初めて行われた、



同窓会とPTAのコラボレーションでありました。岡田会長によるトーク会、上智大学の原強先生、ジャズプレーヤーの足立衛氏もお忙しい中を駆けつけて下さいました。

さらに、当日は多くの方から協力募金を頂きました。感謝、感謝の一日でありました。この紙面をお借りし、御礼を申し上げます。有難うございました。

さて、2013年度の北陽のスポーツを振り返ってみます。硬式野球部は大阪大会予選で3位に入り、久しぶりに近畿大会へ出場。しかしながら1回戦で報徳学園に乱打戦の末敗れました。サッカーもベスト8止まり。陸上競技部の大阪駅伝五連覇がかかったレースは、大阪桐蔭、清風に敗れました。ただ、派手な活躍はありませんが、多くのクラブが近畿大会、あるいは近畿私学大会で善戦しています。個人では陸上部の大森が全国都道府県駅伝の大阪府代表選手に選ばれ、ボクシング部の丸田が全国インターハイで準優勝。岩井、吉名も全国大会に出場権を獲得。

新しい体育館と共に、私たち教員はさらに次元の高い歴史と伝統を作っていく義務と責任があります。どうか今後とも、同窓の皆様にはさらなるご協力の程をお願い申し上げます。



### 関大北陽ファミリーの集いを終えて

関西大学北陽高等学校・中学校 PTA会長 庄司 明弘

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃はPTA運営にご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、11月9日に新総合体育館完成記念として「関大北陽ファミリーの集い」を同窓会の皆様と時間を共有することができました。PTA行事として学食体験と公開授業の見学、新総合体育館の見学の後、体育祭・文化祭のビデオが流れる中、その集いがスタートしました。

足立 衛氏(昭和38年卒同窓 テナーサクソ奏者で、アゼリアジャズオーケストラ主宰者)と本校ジャズバンド部との豪華なコラボ演奏、創作ダンス部の演舞で楽しむことが出来ました。卒業後も在校生のために母校に足を運んで下さり、素晴らしい演奏を披露していたたい事に参加者の多くから喜びの声を頂いております。

次に登壇されました原 強氏(昭和51年卒 上智大学法科学院院長で弁護士)の講演では、訴訟に対するアメリカと日本の考え方の違いをマクドナルドのコーヒーストールを例にお話し下さいました。日本では

考えられない裁判の結果に驚きました。大変参考になりました。

同窓会有志の皆様から頂いたプレゼント抽選会では、新体育館の建替え募金行事として30万円の寄付を集めることが出来ました。

最後は岡田彰布同窓会長(昭和51年卒 阪神タイガース・オリックス監督を歴任、現野球解説者)のトーク会では、会長から「ここだけのプロ野球話」をお聞かせいただきました。鋭い指摘には感銘いたしました。このイベントには、400名を超える多くのPTA・同窓会の方々に参加頂き、盛大で有意義な1日になりました。

このような同窓会の皆様となら、素晴らしい学校を共に築いていけると確信致しました。これからの関大北陽同窓会の更なる発展を心より願っております。本当に有難うございました。



### 「卒業を目前にして」

関西大学北陽高等学校 生徒会長 深石 知航

私たち関西大学北陽高等学校4期生は、たくさんの先輩方の温かい目に見守られながらこの学校を巣立ちます。

北陽創立から数えると八十八年という長い歴史と伝統のある母校の卒業生になると考えると、今まで大きな存在であった先輩方に少し肩を並べることができたうれしさと、後輩たちにこの伝統を伝えなければいけないという責任感で胸がいっぱいです。

関大北陽が、これまで文武両道を実践してこれたのは、先輩方に様々な分野でバックアップしていただいたからだと思います。そして、なんといっても、昨年の九月に完成した「総合体育館」では、多数の方からご寄付を頂いたとお伺いしました。一つの建物の中にあれほどの設備が整っていて、初めて中に入った時には自

然と驚きの声が出てしまいました。私自身、体育の授業で使用した際に、素晴らしい環境の中で学校生活が送れていることを改めて実感しました。体育館を使うクラブの部員の思いは、なお一層強いものがあると思っています。

私たちは、岡田同窓会長をはじめ、多くの先輩方のお力添えもあり、ここまでやることが出来ました。今度は私たちが後輩たちに恩返しをする番です。みなさんがつないでこられた「北陽の伝統」という襷をしっかりと次の世代につないでいきたいと思っています。



## 平成25年度 関西大学北陽高等学校同窓会第36期定期代議員会が開催

日 時:平成25年4月20日(土) 14時00分~17時00分  
場 所:関西大学北陽高等学校1階大会議室にて

辞退者12名を除き代議員総数183名の内、委任者72名、出席者は合計32名での議事進行でした。開会の弁から始まり、物故者に黙祷、校歌斉唱、足立会長の挨拶、鈴木校長先生の挨拶、議長選出、議案審議及び報告と進み、第1号議案から第6号議案まで、すべて審議頂き全員の賛同を得て可決致しました。

審議終了後、その他報告事項として、足立会長から任期途中であるが、出席の岡田彰布顧問に会長就任の内諾を頂いたとの説明があり、代議員から満場の拍手により岡田新会長が承認された。

岡田会長からは母校に対する熱い思いと、同窓会活動の一層の協力をお願いしたいと就任の挨拶があった。会長代行には足立前会長の就任と、執行部体制は現体制を維持するが一部人事を変更するとの説明があり、承認された。又会則の一部の変更が必要なために、改めて規則改定し実施すると説明があった。

委員会終了、懇親会(希望の方対象)15時30分より2階小食堂にて開催され、代議員会の緊張感から解き放たれ、恩師・金澤勇先生、金澤洋先生と鈴木清士校長に入って頂き、三木顧問から50年振りのボクシング部の再興挨拶、談笑談義で盛り上がり時間があっという間に過ぎ17時00分、惜しみながら解散しました。

なお、新執行部及び決算報告・予算書は次の通りです。

総務委員長 北川 徹(昭和45年卒)

平成25年6月改定

### 役員・顧問

(平成25年6月~26年3月)

☆印 新任

役 職	氏 名	卒 年	担当職務
会 長	☆ 岡田 彰布	昭和51年	
会 代 長 行	☆ 足立 宗央	昭和42年	会長補佐兼ホームページ担当
副会長	北川 徹	昭和45年	総務委員会 委員長
同	山内 直行	昭和42年	広報委員会 委員長
同	喜多 憲治	昭和41年	組織・事業委員会 委員長
同	☆ 原 強	昭和51年	関東支部顧問
理 事	内海 昭	昭和43年	関東支部長兼広報委員会 委員
同	岩内日出男	昭和48年	学校窓口兼組織・事業委員会 委員
同	中尾 明	昭和50年	広報委員会 副委員長
同	澤田 涉	昭和52年	事務窓口兼総務委員会 委員
同	☆ 池田 勝一	昭和49年	広報委員会 委員

役 職	氏 名	卒 年	担当職務
理 事	☆ 田村 大作	昭和59年	組織・事業委員会 委員
同	☆ 西森 務	昭和60年	組織・事業委員会 委員
同	☆ 西澤 宏之	平成 4年	組織・事業委員会 委員
会 計	☆ 川合 浩幸	昭和58年	広報委員会 委員
監 事	阪田 裕弘	昭和41年	組織・事業委員会 副委員長
監 事	國府島勇三	昭和45年	関東支部副支部長兼総務委員会 副委員長
名 誉 顧 問	鈴木 清士		関大北陽高校 学校長
顧 問	神山 興三	昭和33年	5代目会長
同	三木 憲三	昭和23年	4代目会長
同	栗田 文吉	昭和23年	4代目副会長
同	米川 修二	昭和42年	5代目副会長





平成24年度 決算報告

自 平成24年 4月 1日  
至 平成25年 3月 31日

収入の部		(単位 円)	
科目	予算	実績	摘要
前期繰越金	5,099,396	5,099,396	
会費	3,930,000	3,920,000	392名
会員・会報協力金	100,000	341,000	72名(34号16名、35号56名)
代議員会費	60,000	58,000	29名×2,000(懇親会参加者)
雑収入(受取利息)	1,000	1,641	預金利息
総合計	9,190,396	9,420,037	

支出の部		(単位 円)	
科目	予算	実績	摘要
会議費	30,000	0	
代議員会会議費	60,000	43,250	
人件費	0	0	
交通費	100,000	148,950	各委員会、役員会等交通費
消耗品費	250,000	215,068	コピー機及び保守料、封筒、宛名シール
通信費	700,000	603,859	会報35号発送費、電話料金、切手、葉書
慶弔費	1,100,000	838,740	卒業祝贈呈品、課外活動副賞
支部費	50,000	44,420	関東支部活動費
雑費	200,000	87,788	名簿メンテ、振込手数料他
予備費	1,500,000	1,500,000	体育館建替基金として寄付
小計	3,990,000	3,482,075	
会報発行費	1,100,000	1,036,900	会報4,000部、HP更新料
組織・事業運営費	100,000	25,932	ホームカミングデー戻し入れ
小計	1,200,000	1,010,968	
合計	5,190,000	4,493,043	
次期繰越金	4,000,356	4,926,994	
総合計	9,190,396	9,420,037	

平成25年度 予算書

自 平成25年 4月 1日  
至 平成26年 3月 31日

収入の部		(単位 円)	
科目	予算	摘要	要
前期繰越金	4,926,994		
会費	3,950,000	395名×10,000(卒業予定者)	
会員・会報協力金	300,000	23年、24年度(定額助任意)実績が	
代議員会費	60,000	30名×2,000(懇親会参加者)	
雑収入(受取利息)	1,000	預金利息	
総合計	9,237,994		

支出の部		(単位 円)	
科目	予算	摘要	要
会議費	0		
代議員会会議費	60,000		
人件費	0		
交通費	150,000	役員会、各委員会等交通費	
消耗品費	200,000	コピー機及び保守料、封筒、事務消耗品等	
通信費	650,000	会報発送費、電話料、切手、葉書等	
慶弔費	1,000,000	卒業祝、課外活動(優秀賞・団体奨励賞)副賞	
支部費	50,000	関東支部活動費	
雑費	100,000	名簿メンテ、振込料他	
体育館建替基金	1,500,000	24年から6年計画で1千万の寄付を予定	
小計	3,710,000		
会報発行費	1,100,000	会報発行(5,000部予定)、HP運用等	
組織・事業運営費	100,000	クラス会・OB部活支援	
小計	1,200,000		
合計	4,910,000		
次期繰越金	4,327,994		
総合計	9,237,994		

# 第6回 ホームカミングデー & 還暦開催 同期同窓会

第6回ホームカミングデー&還暦同期同窓会が開催されました。 実行委員長 足立 宗央(昭和42年卒)

昨年11月9日(土曜日)、「第6回ホームカミングデー&還暦同期会」を母校高等学校・中学校校舎・新体育館をお借りして、還暦対象の昭和47年卒業生を含め105名の同窓が集まり開催されました。

本年度は岡田彰布氏を新会長に迎えて、9月に完成した新体育館の落成を記念して3部構成により、第1部は「懐かしの学食体験」でカレーやきつねうどんと腹鼓を打ち、希望者による高等学校・中学校校舎の施設見学会が行われました。

第2部は新体育館の見学も兼ねて、本校・PTA・同窓会の協力で「北陽ファミリーの集い」が開催されました。司会進行は母校恩師により進められ、1部は母校ジャズバンド部と関西を代表するアゼリアジャズオーケストラリーダーの足立 衛氏(昭和38年同窓)とのコラボで歓迎コンサート、続いてダンス部の創作ダンス、2部は上智大学法学部教授 副会長の原 強氏(昭和51年卒)が「身近な民事訴訟法」を講演された。3部では野球評論家として岡田会長がトークショーと新体育館の募金を兼ねた「お楽しみ券」の抽選会で大いに盛り上がりました。終了後は同体育館で復活したボクシング部員達によるスパーリングを見学。

第3部は懇親会会場である本校2階食堂に移して旧友との話の花が咲くころ、「お楽しみ抽選会」に繋げての楽しい時間を共有出来ました。

「ホームカミングデーに参加して」

同窓会 副会長 原 強(昭和51年卒)

平成25年11月9日(土)に開催された「ホームカミングデー」に参加させていただきました。

関西大学北陽高等学校になってはじめて母校を訪れました。約40年前に高校生活を送った校舎の敷地とは異なった敷地にある校舎での「ホームカミングデー」でしたが、母校に再訪できた喜びをひしひしと感じることができました。校舎やその敷地は変わっても、北陽高校で学び過ごした3年間で培った北陽高校の一員としてのアイデンティティーには何らの影響がないことを実感させられ、これまで以上に北陽高校の卒業生であることに自負心を感じる気持ち強くしました。そして、短時間ではありましたが、久しぶりに再会した同級生や諸先輩方との会話をとおして、言葉では表現できない心地よい高揚感に包まれた時間を過ごすことができました。とても充実した1日でした。

なお、当日は、同窓会とPTAとが主催した、総合体育館完成記念「関大北陽ファミリーの集い」が開かれ、北陽高校と関西大学北陽高等学校とがそれぞれ独自の歴史を持ちながら融合発展していく将来の姿を明確に見て取ることができたように思います。



## ホームカミングデーの告知

今年11月8日(毎年11月第2土曜日)に開催予定です。

今回から対象を全卒業生にして、クラス会・同期会・還暦会等に参加して頂き、皆さんと有意義な時間を共有したいと考えています。詳しくはホームページ(<http://www.hokuyo-ob.jp/>)、問い合わせは同窓会事務局にFAX(06-6320-3032)にてお願い致します。

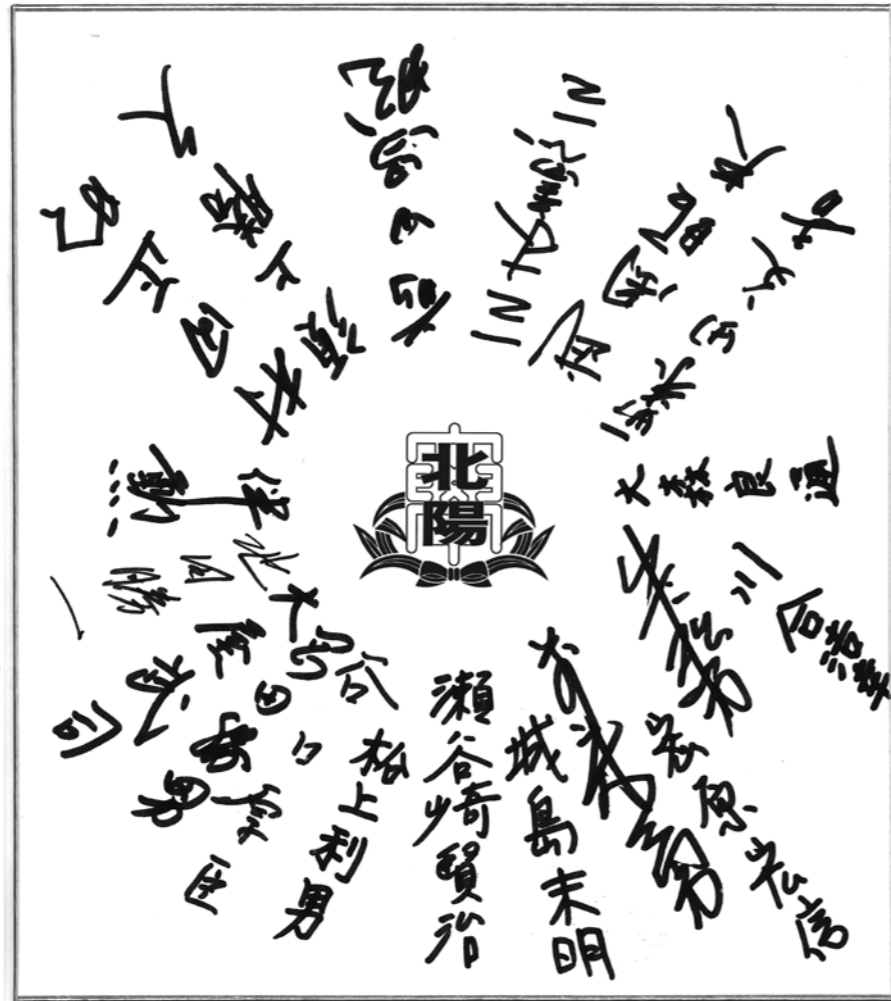




今後とも北陽を応援します。  
皆さんも、よろしくお願ひします。  
昭和47年卒 水関 俊樹  
関大北陽と校名は変わりましたが、校歌はそのままであったのでうれしいです。  
昭和48年卒 井波 幹雄  
ホームカミングデー、同窓会を手伝ってください。お願いします。  
昭和48年卒 岩内 日出男  
知・徳・体の結集プラス創造。  
未来を北陽高校より関大北陽へ!!  
昭和48年卒 速水 隆  
青春の仲間とともに、楽しい再会をすることに感謝したいと思います。  
昭和49年卒 池田 勝一  
我らが北陽!!の底力を力強く感じました。益々の発展を願ひます。  
昭和49年卒 音頭 善勝  
今日の良き日にお招き頂きありがとうございます。関大北陽がんばれ!  
昭和50年卒 友田 幸男  
先生方がもっと参加して頂ければ、もっと参加者も増すと思います。  
昭和51年卒 堤野 繁男

昨年より参加して楽しかったです。来年も参加致します。  
昭和51年卒 梶浦 繁樹  
本日はご苦労様です。初めての出席ですが、これからもお願いします。  
昭和51年卒 浅田 明廣  
楽しい時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。  
昭和51年卒 鳥居 敦  
生きている間に、後何回こられるか分かりませんが、できるだけ応援します。  
昭和51年卒 鈴鹿 勝弘  
今回、初めて参加させて頂き、懐かしい先生の顔も見させて頂きありがとうございました。  
昭和51年卒 山原 孝尋

サッカー部のメンバーも多く参加するように、働きかけをします。  
昭和51年卒 重田 正明  
本日は参加させて頂き有り難うございました。有意義な催しでした。  
昭和52年卒 山本 修平  
新しい体育館に感動した。  
昭和52年卒 八木 知之  
時代の流れを身にしみじみと感じました。頑張り関大北陽。  
昭和52年卒 平井 佳夫  
楽しかったです。  
昭和53年卒 南 隆男



初めての参加でたのしかったです。  
昭和53年卒 丹野 英次  
素晴らしい学校になりOBとしてうれしいです。  
後、甲子園出場期待!  
昭和53年卒 山田 昭彦  
初めて参加させて頂きました。息子も北陽でお世話になっています。  
昭和53年卒 岡野 哲也  
卒業して30年。北陽で受けた恩を少しでも返していきたい。  
昭和58年卒 川合 浩幸

北陽の伝統を築いてきた先輩たちにお会いでき嬉しい一日でした。  
昭和59年卒 庄司 久哉  
岡田会長をはじめ多くの先輩とお会いでき光栄です。  
昭和59年卒 田村 大作  
岡田会長お疲れ様でした!  
昭和60年卒 西森 務  
皆様の元気な姿を見させていただきうれしく思います。  
昭和61年卒 薩摩 亮太

初参加でしたが、生徒たちを見ていると学生時代が懐かしく思う。  
昭和63年卒 密原 宏信  
役員の皆様、御苦労様です。次回も楽しみにしております。  
匿名  
今回の行事が今後の同窓会発展に繋がるよう希望します。  
平成は25年経過しましたが、出席者の中に平成卒業者が殆ど見かけないのが現状です。今後同窓会を次の年代に引き継ぐ大きな課題だと思っています。  
同窓会のアイデアと行動を基に先生方とPTAとの協力、連携が最も重要と考えます。  
昭和45年卒 北川 徹



# 母校だより

## 課外活動表彰



### 優秀賞

### 受賞者からの喜びの声

#### ボクシング部

##### ○インターハイに出場

1年J組 丸田陽七太

高校1年になって初めてのインターハイで準優勝という結果でした。僕は優勝しか見えていなかったの、自分が情けなくしょうがないです。決勝戦は試合が判定となり、自分の中では勝ちを確信していましたが、ギリギリの差で相手の勝ちでした。もうこのような判定にならないように誰にも手の届かない世界一強いボクサーになります。進むべき道は見えています。

##### ○全国高校選別大会に出場

1年J組 岩井 尚斗

僕は昨年ボクシングの大会 大阪府新人戦のライトフライ級で優勝することができました。その後の近畿大会では決勝で負けてしまいましたが、今年行われる全国高校選抜に出場します。近畿で負けているようでは全国高校選抜では優勝できないので、今まで以上に練習をしてそれも中身のある練習をして、全国高校選抜で優勝します。

##### ○全国高校選抜大会に出場

1年J組 吉名 慎太郎

今年の三月に行われる全国大会ピン級の大阪府代表で出場します。試合では緊張せずに力を抜いて練習してきたことを出して悔いのないようにしたいです。この大会で優勝して次の国体、インターハイでも大阪府代表になるように頑張ります。

#### フィギュアスケート部

##### ○インターハイに出場

2年H組 中村 優

1月末に青森県三沢市で行われた去年に続き学校団体が優勝することができました。自分自身あり納得いく出来ではなかったの悔しいと思う試合になりました。何よりも悔しく感じたのは、去年とは違い周りのレベルが想像以上に高く、自分が取り残されているような感じがしたということです。自分これから最高学年として常に上の方に立ち続けて後輩を引っ張っていかなくてはならないと思うので、今回の悔しいと感じたことをモチベーションにして来年は個人、団体とも最高のパフォーマンスが出来るようにしたいです。

##### ○インターハイに出場

1年I組 市橋 翔哉

全国大会やインターハイに出場して感じたことは、日本のレベルの高さでした。理由は、全国大会で上位に入る選手と自分にはまだまだ技術面で差があるからです。それに、どの試合でも常に上位にいる選手は練習で失敗していても、本番では必ず成功させるメンタルの強さがあり、まだ自分にはなく上手い選手を見てたくさん刺激を受けて自分自身のレベルアップにつなげたい。来シーズンも必ず全国大会に行って今シーズンの何倍も良い演技をして、全国大会で自分も上位の一人になりたい。そのためにはたくさんの努力、練習を積み重ねなければいけないので頑張っていきたいと思います。

#### 陸上競技部

##### ○全国都道府県駅伝大会に出場

3年J組 大森 澤

私は広島県で開催された全国都道府県駅伝大会に出場しました。昨年と同じ区間だったので、気持ち的にも余裕が生まれリラックスして走れましたが、全国のトップレベル選手との力の差を感じる結果となりました。又、先日行われた記録会の10000mで大阪高校記録を樹立することが出来ましたが、満足できるような記録ではありませんでした。まだまだ私は未熟で弱いですが、いつか大きな舞台上で活躍できる力を付け、周りから目標とされるような強い選手になります。

##### ○全国高校選抜大会に出場

3年B組 加島 匡信

昨秋に行われたこの大会に全国上位32名の内の一人として八種競技に出場しました。自分の力を全て発揮することは出来ませんでした。が、「仲間からの応援」の力を強く実感しました。応援があったからこそ良い結果を出すことが出来た種目もありました。応援が力になるとこのときほど思ったことはありませんでした。だから私も仲間を応援し、仲間の力になれる努力をし、お互いに支え合い、又そんな仲間と巡り会えたことに感謝の心を忘れることなく、今後も精進していきます。

##### ○日本ジュニア・ユース選手権大会に出場

3年H組 中村 瑠菜

日本ジュニア・ユースのへ出場するのは3度目となり、夏のインターハイへ出場できなかった悔しさや前大会よりも上位への気持ちでいっぱいでした。試合当日はとて気持ち緊張して不安になり思うような結果が出せませんでした。やはり、全国のトップレベルの人たちは私よりもっと技術だけでなく精神面でも上回っていると感じたので、これからは競技を続けていく中で、今回感じたことを日頃の練習や試合で活かしていけるよう心がけていきたいです。

##### ○日本ジュニア・ユース選手権大会に出場

2年E組 田中 駿平

今回は2度目の日本ユースですが、去年同様に自分の力を発揮することなく終わってしまいました。その分自分に欠点がたくさんあることが分かったので、この冬にしっかりとトレーニングなどをして鍛え、来年度のインターハイが高校生活最後となるので、全国優勝なされた宮田先輩のように自分も三段跳びで、全国優勝できるように日々努力をしていきたいです。

##### ○日本ジュニア・ユース選手権大会に出場

2年H組 田中 涼太

陸上人生初の全国大会で緊張感よりも自分がこの場にいる喜びの方が大きかったです。結果は全く良くなかったのですが、これまでにないとても良い経験をさせて貰いました。これまで数え切れない人たちと出会い、その人たちのおかげで今の自分があるので3年生のラストシーズンは恩返しを含め、より大きな舞台で勝負し、勝って最高の高校陸上競技人生にして、最後こそ笑います。

#### ○日本ジュニア・ユース選手権大会に出場 1年G組 藤田 湊太郎

私は高校生になって初めての全国大会に走り高跳びで出場しましたが、全く助走が合わずに記録なしというとても悔しい結果に終わってしまいました。しかし、気持ちの面や準備の面などで結果の良かった大会よりも学ぶことが多くあったので、これからを生かすためにも全国規模の大会に出場できるように、来シーズンに向けて自分を鍛えていきたいです。

#### 水泳部

##### ○インターハイに出場

2年C組 橋本 凌輔

私は、インターハイに200m平泳ぎと400mメドレーリレーに出場しました。そして、今年のインターハイまでに日々の練習で課題を一つ一つ克服し、修正していくことが出来れば、全国のトップクラスの選手に近づくことが出来るのではないかと感じました。顧問の吉田先生の指導を受け、さらに上を目指して国体、インターハイでは決勝の舞台上に立てるように向上心を忘れず、頑張っていきたいです。

#### ○全国高校選抜大会に出場

3年J組 松井 祐樹

私は、全国インターハイを後一步のところまで出場することが出来ずとても悔しい思いをしました。その悔しい思いを全国高校選抜大会にぶつけることを決意したのですが、思い通りに調子が上がらず、焦りばかり増していき全国大会前にあった競技会でケガをしてしまいました。そして、全国高校選抜大会で自分の力を全く発揮することが出来ず途中棄権をしてしまい悔しい思いをしました。この悔しい思いを忘れず大学生活では精神面、肉体面を強化し全国大会で活躍できるよう頑張りたいと思います。最後に、この3年間いろいろな経験をさせて頂いた多くの方々に感謝しています。自分一人では強くならないことが出来ませんでした。ありがとうございました。

### 奨励賞

#### ジャズバンド部

ジャズバンド部顧問  
手嶋 正雄

ジャズバンド部は、今年度も数多くの演奏活動を行いました。本番の演奏は、校外で18回、校内で9回を数えます。

その中でも大きなものとその内容を挙げます。まず、毎年開催してきました定期演奏会(サマーコンサート)は今年度で第25回を数え、毎年来ていただいている固定ファンも多くなっています。また、毎年出場しているジャパンスチューデントジャズフェスティバル(8月、神戸文化ホール)では審査員の高い評価を受け、世界的ジャズトランペッター日野皓正氏との共演(11月、神戸朝日ホール)に結びつきました。10月には、「浜松スチューデントジャズフェスティバル」に関西地区からの推薦で出場し、ドラムの三橋菜々美(2年)がベストプレイ賞を獲得しました。さらに1月には、「高槻スクールジャズコンテスト」(高槻現代劇場)において、「金賞」と「高槻文化振興事業団賞」を受賞しました。

そのような当部の活動に対して同窓会より敢闘賞をいただき、心より感謝申し上げます。今後ともより高いレベルを目指していきたいと思っておりますので、ご支援をよろしく願っています。

#### ハンドボール部

ハンドボール部監督  
鈴木 和宏

本年度3年生は前年度に中央大会でのシード権を失っていたためインターハイ予選は5月のグランドでの北ブロック大会から出場、苦戦続きでしたが北ブロックを1位で通過し中央大会に臨みました。結果は2位惜しくもインターハイ出場は逃しましたが7月の近畿大会はではベスト8。その日で3年生は引退。しかし前年度の実績から見れば飛躍的な成長を遂げたと思います。その後2年生を中心にした新チームで8月の秋季大阪大会3位、9月の私学大会は優勝と次第に弾みをつけ、11月の全国選抜大阪大会予選に臨みましたが3位に終わり全国大会への道は閉ざされましたが12月末に行われた近畿私学大会は2位となり、今年6月に行われるインターハイ予選には確実に繋がって行くと思います。今後も全国大会出場を目指し切磋琢磨していきますので変わらぬご声援をお願いいたします。

#### 『50年ぶり古豪復活!』

関西大学北陽高等学校 ボクシング部監督 中川 智 (平成3年卒)

本校OBである三木憲三氏、粟田文吉氏等の想いと、同じOBである森岡和則氏(川西市で森岡ボクシングジム経営)の協力によって、平成25年度より50年ぶりに本校ボクシング部が復活をいたしました。

そして同ボクシングジムより丸田陽七太 吉名慎太郎、岩井尚斗、長澤民生の4選手が入学をいたしました。昨年4月にカザフスタンで行われたアジアジュニア選手権において丸田陽七太、岩井尚斗の2名が日本代表として出場し共に銅メダルを獲得しました。そして昨年8月に佐賀県で行われたインターハイでは、丸田陽七太が1年生ながら強豪ひめくフライ級で見事準優勝をしました。今年3月に兵庫県芦屋市で行われる全国高校選抜ボクシング大会においてピン級、吉名慎太郎(近畿大会優勝)、ライトフライ級、岩井尚斗(近畿大会準

優勝)の2名が出場いたします。しかし彼等は現状に全く満足をしておらず、更なる飛躍を求め日々厳しい練習に励んでおります。

今年もアンダージュニアチャンピオンの齋藤翔太君が入学をいたします。たくさんの方々のおかげで復活をした関大北陽ボクシング部です。今後もたくさんの方々の生徒が入部し、精神的にも肉体的にも成長してくれる事を願います。そして、近い将来必ずこの中から皆様から応援されるチャンピオンを輩出していきます。



### 進路状況

平成26年1月現在の卒業予定者は、396名ですが、内部入試202名、特進・チャレンジ入試11名、スポーツフロンティア入試2名の計215名が関西大学に進学が内定しています。

注意：合格者は延べ人数

#### 大学合格者数(抜粋)

大学名	卒業生数	国公立大										主な私立大学										合計	左記以外の合格者数合計	総合計														
		関西大学	大阪大学	神戸大学	神戸外国語大学	大阪市立大学	大阪教育大学	滋賀大学	京都府立大学	広島市立大学	下関市立大学	上智大学	関西学院大学	同志社大学	立命館大学	近畿大学	京都産業大学	甲南大学	龍谷大学	大阪経済大学	佛光大学				大阪工業大学	摂南大学	神戸学院大学	追手門学院大学	桃山学院大学	京都市外国語大学	関西外国語大学	同志社女子大学	武庫川女子大学	京都女子大学	甲南女子大学	神戸女子学院大学		
合格者数	2011年度	322	192	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	5	4	33	38	2	9	27	4	16	23	23	39	16	5	2	2	35	2	488	107	595		
	2012年度	392	218		1	1			3	1		2		1	3	4	3	33	35		12	26	5	17	67	15	32	18	7	11	8	6	6	27	5	567	309	876

# 同窓の近況

## 昭和38年D組卒業の集い

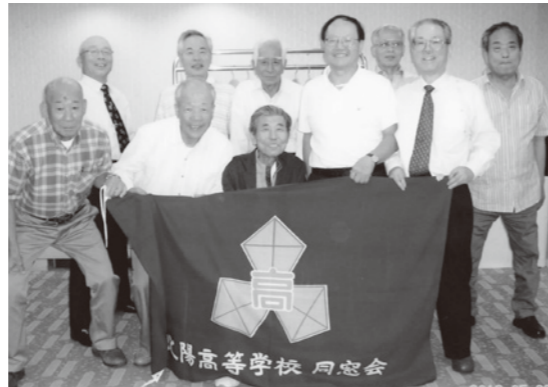
昭和38年卒業Dクラス(荒賀先生)同窓会を平成25年3月9日に開催しました。場所は前回と同じ阪急京都線南方駅前の「やぐら寿し」で参加者は8名です。前回から皆さんの趣味や特技の披露を行う様になり、今回は増井さんのサックス演奏をしてもらい、演奏の練習方法や苦労話をしてもらいました。前は私(竹谷)の割り箸・つまようじを主な材料として作った東京タワーの模型をもらい作成の手順を披露しました。今後も、皆さんにはクラリネットやギター演奏等をお願いしております。この会を長く続けるために色々な企画を考えていきます。毎回参加者の顔ぶれが同じで我々の先輩・後輩、クラブ活動で一緒であった方々で次回参加を願える方がおられたら是非ご参加ください。連絡先は、幹事の乗本 勝(090-8528-6695)までご連絡ください(次回26年3月)。ご参加をお待ちしています。参加者は、次回の再会を楽しみに同窓会を閉会しました。竹谷宏之(昭和38年卒)



(後列)宮脇真人、松本勇、紀本勝 (前列)平井経大、西田勝彦、大友邦彦

## 『昭和35年卒業Eクラス同窓会』を四年ぶりに開催

恩師 故八田 広次先生が逝去され13年を経た今年、また卒業後53年目で久しく四年ぶりにクラス同窓会を平成25年5月26日(日曜日)午後5時よりホテルグランヴィア大阪の蘭の間で10名が出席し開催した。この四年の間に同期クラスメンバーの鎌田 吉二君、黒田 彬君、小林 克巳君、末広 健治君、谷田 親彦君、中上 啓明君、溝口 富寿雄君の6名が亡くなられ、寂しく残念な思いだ。このメンバーの多くは、この集いに、その都度ご出席し学生時代をふり返り、当時の話題に花を咲かせ、酒を酌み交わした仲間だった。当日は、山本 正明君の司会で、故八田先生はじめ亡くなられたクラスメンバー10名の方々に思いを馳せながら、黙祷と献杯で進められた。今回は東京葛飾から人気者の一人であった吉岡 邦彦君が十六年ぶりに、そしてまた体調不良にも拘わらずエンターティナーの山田 勝彦君の両名がクラスメンバーに逢いたい、顔を見たいという思いで出席いただいた。この集いは予定時間を大幅に延長するなど大いに盛上った。最後に、多くの出席者から年令的に不安なこともあり、この集いを毎年開催して欲しいとの強い要望があり、全員一致で決定した。竜田 洋(昭和35年卒)



後列左側より大山 賢造、有年 安永、吉岡 邦彦、桂 武久、喜多 睦嗣、前列左側より平井 栄治、平岡 勇、山田 勝彦、山本 正明、竜田 洋(敬称略)

## 関大北陽高校ボクシング部OB会が後援会を発足しました

ボクシング部は昭和20年頃に誕生し、三木憲三氏(元同窓会長)と栗田文吉(元同窓会副会長)が全国中等学校ボクシング選手権大会(現インターハイ)で、それぞれバンタム級優勝、フェザー級準優勝と大活躍され、北陽ボクシング部の名声は不動のものになりました。昭和34年には全日本高校選手権大会でフェザー級に小林光富が優勝、ライト級に千代 功が準優勝しました。その後は部員の減少、指導できる顧問の不在などの状況が続き、昭和38年には廃部となりました。今年、50年ぶりの母校ボクシング部が再興しました。昭和59年に母校を卒業した森岡和則氏は、父栄治(メキシコオリンピックバンタム級銅メダリスト)の後を受け継いで森岡ボクシングジムを開いていました。森岡氏の母校に対する熱い想いと、三木・栗田氏の再興への想いにより実現しました。3月16日の発会式には、森岡氏と4人の部員たちのひたむきな情熱を披露してくれました。後援会の目的は、「関大北陽に自分の夢をかけて入ってくる生徒が安心して練習に打ち込めるようにする為に、練習環境を整え、持続可能な安定性のある経済基盤を作る」ということです。どうか今後とも関大北陽ボクシング部のために、ご支援・ご協力のほどをお願い申し上げます。村田正明(昭和38年卒)



## 第14回同窓会ゴルフコンペに参加して、再会報告

まず以って晴天に恵まれた事が一番でした。しかしながら残暑が非常に厳しい中、参加者全員が18ホールを廻り切った事が大変良かったと思います。成績の発表は私の成績がいまいちのため割愛致しますが、本当は誰が優勝されたか知りませんのでごめん下さい。さすが「名門北陽」の同窓会ゴルフコンペだな～と思いました。理由は参加メンバーが野球部以外の方が少ないと感じたからです。今回は、ぜひ今回参加された方々が、同級生に声をかけてもらいゴルフ場を貸し切って開催できるように、皆さんの日頃から「北陽精神」を持った仲間と付き合っ親交を深める事が大切だと思います。同窓会の運営委員の方には敬意を表します。「北陽同窓」の発行業務、「ホームカミングデー」などの行事をボランティアとして参加されている方々にお礼を申し上げます。速水 隆(昭和48年卒)

## 第14回「関大北陽同窓会ゴルフコンペ」が開催されました。



第14回「関大北陽同窓会ゴルフコンペ」は、平成25年9月12日(木)、岡田彰布会長の参加の下、5年振りに「グランドオークゴルフクラブ」に於いて総勢62名の参加により開催されました。当日は30度を超す真夏日復活の中、汗だく・パテパテになりながらもいざプレーに入ると、さすがは元アスリート達、目つきは真剣そのもの「浪速若子の北陽魂」が目覚めたか、所々でスーパーショットを垣間見る事もありました、と言うものの雑談・近況報告を語り合い、OBを連発する中、まさに「OB会」そのものでありました。プレー後の懇親会・表彰式は冗談やヤジが飛び交う中で和気あいあいと執り行われました。優勝は、グロス70というプロ顔負けのビックスコアでサッカー部OBの山原孝尋さん(51年卒)が射止め、岡田会長から手渡されましたが、同級生ということもありお互いに照れ笑いながらの授与が印象的でした。20代から80代までの幅広い参加のあった今回のコンペは、北陽高校の絆がなお一層強くなった1日でした。次回も予定しておりますので、多数の参加をお待ちしています。吉井 寛(昭和54年卒)



## 我ら昭和42年卒の年金生活の楽しみ方

卒業して以来47年が過ぎた我ら同期のメンバーは、有名ホテルの元コック長でいまだ現役の中田晶詞君、北陽から何故か浪商経由で上場企業の幹部だった林 修平君、母校で体育教師だった山内直行君、そして実家を継いだ理容院経営の小林孝一君、宝塚で民生委員の松本純一君である。まだ参加はしていませんが最近ゴルフ場でバツリ(同期と聞いてびっくり)山田純一郎君もいます。そんな私達共通の楽しみは、平日セルフゴルフである。ゴルフと聞くと贅沢とかみさんからよく言われるが、1日外出できて(亭主元気で留守がいいが本音らしいですが)いい空気(雨も嵐もあるが)と健康なスポーツと自負しています。大先輩で元同窓会長の三木さんは83歳の現役ゴルファーである。たまにご一緒しますが18歳年上とは信じがたい方である。岡田会長就任がきっかけで同窓会ゴルフコンペが再開されました。今年も秋には開催されます。参加して下さい、又この記事を見て興味のある同窓の方はぜひお声をかけてください、待っています。足立宗央(昭和42年卒)



恩師金澤先生と

## 北陽岡田会 新年会パーティ「青春時代の仲間とのふれあい」

1月18日(土)北陽岡田会が、小澤さん(友人で読売テレビアナウンサー)司会で、ANAクラウンプラザ大阪にて開催されました。この会には野球部OBだけでなく、岡田会長のお人柄で北陽同窓仲間・現PTA会長・副会長と丹波市からの総勢130名(同窓会関係70名・野球部OB関係60名)方が集いました。最初に、鳥居北陽岡田会会長、池内関西大学理事長、足立同窓会長代行から挨拶があり、金澤勇先生の高らかな乾杯で楽しい時間がスタートいたしました。乾杯後は、バイキング料理を食しながら各テーブルで再会と昔懐かしい話に花を咲かせていました。また、友情出演として関西を代表するジャズプレーヤー足立衛さん(昭和38年卒同窓)がセントルイスブルース等の3曲を演奏に続き、母校の事務室勤務だった中向登美子さん(昭和43年卒・「歌手名中峰美由」)がつゆ草の宿・大阪夫婦の2曲を披露してくださいました。兵庫県丹波市からはゴルフ繋がり(岡田さんが丹波市長杯に参加されて優勝が縁で)寒川さん(ひかみカントリークラブ社長)から、今年も参加いただけるように招待状が手渡されました。続いて、お楽しみ抽選会では、金澤先生、参加の同窓の方、野球部OB、丹波市からの参加者による商品提供で抽選が始まり、最後は岡田会長のサイン入りバット抽選で盛り上がりました。最後に小澤さんの司会で、今年度の各球団戦力・優勝球団はどこかというインタビューが参加者の注目の的になりました。岡田さんの各チーム戦力分析は大変冷静で多くの方が頷いていました。ここでは細かい内容には触れないように致します。参加者からはタテジマユニホーム姿を熱望する声が多くありましたが、今は充電期間として各チーム分析されている様子でありました。タテジマ球団からオファーがあれば、いくつかの課題を整理できるなら、監督就任を受ける体制はできているように感じました。最後に岡田会長からお礼の挨拶と全員土産を持って閉会いたしました。池田勝一(昭和49年卒)



訃報 林 敏夫校長を偲ぶ



林 敏夫先生が平成25年10月10日(木)亡くなられました。通夜は11日、葬儀は12日に高槻セレマホールでしめやかに行われました。

林先生は昭和24年(1949年)から旧北陽高等学校に勤められ国語科の教員、クラス担任として教鞭を執られ教務主任も長く担当されました。

又、昭和50年(1975年)4月から教頭就任、昭和52年(1977年)4月から平成14年(2002年)退職されるまで学校長として勤められました。その間に高校校舎の移転、第2グラウンド、屋内温水プール、小体育館建設など北陽高校の発展に寄与されました。

そして平成20年(2008年)北陽高校の最後の卒業生と共に理事を退任されました。その偉業に対し、心から尊敬と感謝を捧げ、謹んで氏の御冥福を祈ると共に、皆様のご自愛を切望するものでございます。



山内直行(昭和42年卒)

関東支部だより

平成25年度関東支部定例総会及び懇親会が開催されました



梅雨だというのに6月1日(土)は、「岡田会長上京」ということで、五月晴れのすがすがしい陽気だった。

関東支部定例総会及び懇親会を14:00から定刻通り開始、参加者15名は、東京日本橋「やぶ久」に参集した。

30分間は「総会」、国府島副支部長(昭和45年卒)により進行した。足立会長代行から岡田会長の紹介、岡田会長の挨拶の中で、原 強さん(上智大学教授・法学院院長 昭和51年卒)が副会長就任されたと発表があった。

実重優さん(昭和40年卒)による「乾杯」でのどを潤し、内海支部長より支部の役員・会則・会計・支部の状況が「資料」に基づき述べられた。

14:40から「懇親会」が催された。歓談しながら席順で自己紹介へと続く。新規参加者井原秀夫さん(昭和42年卒)は市川市在住、カメラ片手に自適に定年後を送っている。梶川聖二さん(昭和56年卒)は在学中サッカー部に所属、単身上京してホームページを扱う会社を営んでいる。山村勝彦さん(昭和57年卒)は長崎慶一さんとお住まいが「南千住」で同じ。あらかじめ「遅れる」との連絡



を受けていた山本雄造さん(昭和45年卒)が、体調不良にもかかわらず、駆けつけた。鳴海進さん(昭和46年卒)は、「銀座高松」以来のこと。懐かしく思った。所沢から高木さん(昭和57年卒)、今後とも支部を宜しく支えてください。

また、幹事として正津さん(昭和60年卒)・豊田さん(昭和57年卒)の2名を任命し、「定例総会」にて了承された。執行部の若返りを期待し、関東支部をリードして行くにふさわしい人材であると確信している。

16:55終了定刻がやってきた。次年度この期間、この時間、この場所で再開を願って、古参の十時さん(昭和37年卒)によって一本締め、店頭でHP用集合写真を撮影して散会、八重洲口に向かって行く参加者の後姿に手を振って見送った。

今後も同窓会の輪を広げていくためにも、先輩・同輩・後輩の所在が分かれば、是非同窓会のホームページ(<http://www.hokuyoob.jp/>)または、支部長のメールアドレス(422kc2@bma.biglobe.ne.jp)にアクセスして連絡してください。

内海 昭(昭和43年卒)

同窓会協力募金ご協力ありがとうございました

卒業年度順・敬称略 平成25年12月末日現在

Table with columns for graduation year, name, and amount. Lists donors from 1949 to 2024.

今回ご案内により、ご逝去され、ご家族からご連絡頂いた卒業生の方々(敬称略)

Table listing deceased members and their families, organized by graduation year.